

第5回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 24 年 10 月 29 日 (月) 午後 5 時 30 分～7 時 30 分
場 所 武蔵野市立中央図書館 3 階 視聴覚ホール
出席委員 伊野啓子 黒沢明子 酒井有紀 船崎 尚
松山 巖 三井一夫 毛利和弘

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 前回会議要録の確認
- 3 議事

(1) 図書館の運営について

① 平成 24 年度 武蔵野市図書館事業目標 (確定) について

事務局から平成 24 年度武蔵野市図書館事業目標 (確定) について前回からの変更点を説明。事前に前回審議内容をふまえて修正したものを送付。これを基に目標を確定する。24 年度事業評価は 1 月以降の運営委員会にて行う。

委員 前提条件として、参考指標や資料は目標の部分に入りますか。これは評価段階で入れるという前提ですか。

事務局 評価段階で参考指標を入れます。

委員 1-3 上段の目標の最後に電算システムの「定期的な検証」とありますが、この検証の頻度は年に 1 回ですか。

事務局 1~2 か月に 1 度行われる電算関係についての定例会議でシステムの安定性やバグ、「利用者の声」に寄せられた改善点などの検討を行っています。

委員 より具体的な数値があるほうが評価しやすいので追加してください。

事務局 では目標に「1~2 か月に一度定期的な点検」と修正します。

委員 2-3 上段の「職員に対する危機管理研修」は年 1 回ですか。

事務局 基本的に年 1 回の実施となります。こちらも同様に目標に回数を加えます。

委員 できるだけ決まっているものは数字を入れるようにお願いします。

3-1 上段の「職員研修」は職員向けのアンケートや満足度調査をしていますか。これを行わないと改善改革が出てこないのでは、行っていないのであればぜひ入れていただきたいと思います。

事務局 次の項目の「研修個人シート」に研修に対する 3 段階の評価欄があります。

委員 それでも評価はできると思いますが、正直な感想を答えていますか。

事務局 平成 23 年度結果を見ると C 評価もあり、正直に答えてもらっているようです

委員 ヒアリングはなかなか本音が言いにくく、無記名で行うアンケートのほうが正直な意見が出ることもあるので、そういった工夫があれば良いと思います。

3-2 上段の開館時間の延長は、24 年度は何をとり組む予定ですか。実際に試行するのであれば既にある程度検討されていると思いますが、いかがですか。

事務局 23 年度に財政負担が大きいということで、実施手法を含めて引き続き検討事

項となっています。開館時間は何時まで延長するという設定はしていませんが、平日と同じように土日祝日も午後8時までを考えています。

委員 試行は保留としても、開館時間の基準を午後8時までと設定した根拠は利用者アンケートや近隣の図書館を参考にしたものでしょうか。

事務局 図書館基本計画を策定する際に行われた利用者アンケートの結果や、近隣自治体の図書館の開館状況を参考にしています。

委員 新たに利用者アンケートを実施する予定はありますか。

事務局 24年度目標として、利用者アンケートを実施する予定です。その際、開館時間についても当然調査項目に入ると思います。

委員 その結果でまた時間が変わるということもあり得ますね。ただ、今年度試行を目標にするのであればアンケートを取ってからでは遅いのではないのでしょうか。わかっているならば具体的に何時までという時間を入れていただきたい。

事務局 24年度試行は、予算要求時に却下されているので実行はできませんが、予算要求時に開館時間は午後8時までを想定しています。これは、平日と同じ開館時間で利用者の方にも馴染みやすいこと、過去のアンケートで平日と同じ開館時間まで開館して欲しいというご意見があったことで設定しています。ただ、職員配置や運営形態から考えるべき問題であり、また今年度のアンケート結果によってはまた1から考えなければならない問題でもあります。

委員 では午後8時よりも延長することはありますか。

事務局 プレイスが午後10時まで開館しているので、十分に考えられます。

委員 評価の時点では数値があると評価がしやすいので入れていただきたい。

事務局 この検討には「8時」も「10時」も検討しました、という意味合いが強いのではないかと思います。試算上は午後8時までとしています。財政課からの指摘では、時間よりも夜間開館自体の可否や必要性を問われ、否決されているという経緯があります。

委員 3-3の目標にある「仕組み」は24年度での目標であれば具体的に案を出していただくほうが良いと思います。「進めます」では評価できません。

事務局 「仕組みを作ります」と直します。

委員 4-1の2段目「利用者ニーズの把握」はどのように行っていますか。ニーズを把握するという事は難しい問題なので、利用者に聞く・他図書館を調べるなどがあると基準分かりやすいので、表現できるのであれば入れてください。

6-2の5段目「ヤングアダルトに関する企画展示」は各館年何回行いますか。目標値を加えてください。

事務局 現段階での目標の数値を加えます。

委員 8-1の2段目「レファレンス研修」は年何回やるのか、どのような内容の研修なのか、など具体的な目標があればわかりやすいと思います。

委員 8-4下段の「シニア世代が利用しやすい大活字本の充実」に、購入冊数などの目標数値はありますか。

事務局 大活字本は年間の出版予定数がわからず、具体的に購入目標が出しにくいので、前回と比べて何冊増えた、という評価になると思います。

委員 2-1は26年度末までに実施する目標ですが、単年度でもできる安全性を高める取り組みがあれば載せる必要があるのではないのでしょうか。

事務局 安全性を高めるためにはいろいろなやり方があると思います。例えば我々が目指す巡回警備を増やすことはお金がかかりますが、職員が館内を巡回する時間をすればお金はかかりません。23年度に導入した監視カメラは実際効果を発揮しています。26年度までに効果的な対策として24年度に行うは新しい取り組みはできていません。できるとすれば先程述べた職員の巡回だと思います。

委員 26年度に検討結果の報告書の提出があるということでしょうか。

事務局 報告書というより、26年度末までに実行することが理想的だと思います。

委員 26年度に実行するのであれば24年度までに検討し中間報告を出し、25年度に最終計画、26年度に実行となるのではないのでしょうか。具体的な年度なども入れたほうが良いと思います。

事務局 24、25年度に検討し、26年度実施という形になると思います。

委員 では目標を「24年度は中間報告をまとめる」などにしたほうが良いでしょう。

委員 6-1に利用者アンケートを今年度実施すると目標にあります。進捗状況はいかがですか。評価に関わると思います。

事務局 当初、10月～11月に配布・回収を行う予定でしたが、現在は11月～12月に配布・回収、評価は年度内に行い、4月の運営委員会でお出しする予定です。

現状としては、過去の武蔵野市のアンケートの精査し、他区市のアンケート内容を検討している段階です。予算が少ないので、大きなアンケートはできませんが、できるだけ実の多いアンケートにしたいと思います。

委員 では、今日出た意見をまとめて送付していただき、本日欠席の委員の意見伺い、目標を確定するというところでよろしくをお願いします。

② 平成23年度 武蔵野市図書館事業評価（案）について

事務局から前回からの修正事項を報告。本日は1項目ずつ評価を行い、その評価と本日欠席の委員のご意見が入ったものを改めて送付する。評価は11月末を目途に確定し、教育委員会へ報告する。

委員長 項目ごとに随時意見を出していきましょう。

1-1 公共施設を利用した図書館機能の充実

委員 取組結果の「個人レベルで検討」というのはどういうことでしょうか。

事務局 担当者が問題を把握しているまでで、具体的対策などは行われていません。

委員 ではどちらも評価はCでよろしいですね。

1-2 既存施設の整備・改修

委員 これはいろいろとやっていただいたのでAでよろしいですね。

1-3 図書館業務システムの再構築

委員 こちらも評価はAでよろしいでしょうか。

2-1 利用者の安全性を高める施設の充実

委員 監視カメラの死角はほとんどなくなったということではよろしいですか。

事務局 以前のカメラと比べ、死角はほとんどなくなりました。

委員 では評価はAにしましょう。エレベーターもAでよろしいですね。

2-2 個人情報とプライバシーの保護

委員 こちらもAということでよろしいですね。

2-3 危機管理体制の構築

委員 中央と吉祥寺で危機管理研修・訓練のやり方が違いますよね。吉祥寺は商業施設が多く、人口も密集しているので、逆にこちらの対策をしっかりとやるべきですが、十分にできていないように思うので、評価はBだと思います。

委員 私もBだと思います。実際に訓練を行ったうえで不備などが見つかるものだと思います。

委員 では評価はBでよろしいですね。

事務局 コメントに「吉祥寺は人員対策をふまえた訓練をすべき」と載せます。

委員 次の安全対策マニュアルに移ります。図書館の防災マニュアルは市のマニュアルがまだ確立していないと作成できず、評価が難しいですね。

事務局 東日本大震災の発生により、マニュアルの策定が遅れています。今の段階では評価は難しいと思いますので、マニュアルができた時点で評価していただきたいと思います。

委員 ではBでしょうか。

3-1 職員の人材育成

委員 まず研修についてですが、こちらは参考指標がでているのでAでよろしいかと思います。次の「研究個人シート」も予定通りできているので、評価はAでよいと思います。

3-2 施設の管理・運営形態

委員 開館時間延長は24年度目標でも議論されたところですがいかがでしょうか。

委員 努力はされたようですが、Bでしょうか。

委員 運営形態については利用者アンケートを実施するということがありますがでしょうか。

委員 23年度としてはアンケートの予算を獲得したということでAですね。

3-3 評価システムの構築

委員 目標の「自己評価を行う方法について検討し、評価結果をスタッフに配布した。」という文言の意味がわかりません。評価方法を検討し、自己評価表をスタッフに配布したということでしょうか。

事務局 自己評価表を配布したのではなく、22年度取組結果についていただいた評価を配布しました。これを基に、自分たちをどのように評価していくかを考える問題提起として配布しました。自己評価表はまだできていません。

委員 こちらは24年度までの2か年計画なので、24年度に自己評価表ができていると目標が達成するということですね。

委員 つまり、自己評価するという意識がついたということですね。

委員 では評価はBですね。

4-1 多様な情報資料の蓄積

委員 まず上段の目標はAでよろしいですね。次の電子書籍の導入についての研

究はいかがでしょうか。

委員 この「情報収取」が単なる情報収集で終わっているのか、結果をまとめているのかがわかりません。

事務局 収集した情報をまとめることはしておりません。

委員 ではBですね。

4-2 市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクル

委員 継続事業で評価が難しいですね。改善改革は特にありません。

委員 児童書リサイクルも専門図書館へのリサイクルも減少していますが、何か理由があるのでしょうか。

事務局 児童書は、中央図書館ではもともとリサイクルをあまりしていません。吉祥寺図書館は書庫がなく入替が激しいので、状態のきれいなものは他館のものに替えて利用するようにしています。リサイクルが減っているのは廃棄本自体が少なかったということです。購入数を増やせば廃棄本が増えるので、これは一概に増やせばよい、というものでもないかと思います。また、児童書のリサイクルは一般の人向けではなく、保育園や児童館など、市内で子どもがいる施設に限定して行っています。毎年好評をいただいております。成果は上がっていると感じています。

委員 これは取り組み自体を評価できると思います。リサイクルとして様々なところで活用していることがすばらしいと思い、私はAにしました。

委員 これは図書交流センターも同じですね。文化人のご遺族の方からの寄贈などがあれば資料が多くなるので、一概に数には表しにくいものと思います。

委員 これは数にあまり意味がないと思います。取り組み方や方法論などが焦点となり、新しい提供先を開拓するなどやり方に工夫入れ、何かイノベーションがあれば評価がしやすいと思います。

事務局 図書交流センターの提供先は主に都内の専門図書館でしたが、23年度は新しい提供先も開拓しているという実績があります。

委員 それならばAが付けられます。そういったことも結果入れていただくと評価するときにわかりやすいと思います。

5-1 市民との協働

委員 こちらは研究もしなかったということでしょうか。

事務局 23年度は行っていません。

委員 ではCでしょうか。

5-2 他の図書館施設、行政部局との連携・協力

委員 これは頑張っていたいただいたようですので、両方Aでよいと思います。協力課10課をみていただければわかると思います。

5-3 その他の機関との連携協力

委員 資料展示に反映させたかどうか結果にありませんが、いかがですか。

事務局 資料を送っていただき、配布・展示を行いました。

委員 それであればAですね。

5-4 学校との連携協力

委員 こちらは内容も大変良いのでAで良いと思います。

委員 下段の「学校図書館システムとの連携」ですが、学校図書館システムは既に稼働していますか。

事務局 23年度より稼働していますが、図書館との連携はなされておられません。

委員 こちらも評価はAでよろしいですね。

6-1 貸出・閲覧サービスの利便性の向上

委員 利用しやすい配置場所の検討について何も書かれていないようですが、検討はされていますか。

事務局 2階に新たに設置した自動貸出機は検討し、設置しました。

委員 他の既設の貸出機の設置場所に問題はありませんか。

事務局 特に苦情等なく、動かせる余地もないので、問題はないと思います。

委員 ではこちらもAでよろしいですね。

6-2 本に親しめる環境の整備

委員 トピックス展示については指標もあるのでAでよろしいですね。次も「子ども読書活動推進計画」の策定がされているのでA、武蔵野プレイスのテーマ別配架もされているのでAでよろしいですね。

6-3 市民活動支援機能の充実

委員 こちらは数字が少し減っていますが、評価はいかがでしょう。

委員 継続事業で改善改革が特に入っていないのでBにしました。何か改善改革はありましたか。

事務局 特にありません。

委員 ではBでよろしいですね。

7-1 レファレンスサービスの充実

委員 まず上段ですが、レファレンス件数は増えているのでAでよろしいでしょうか。次のレファレンス研修についてもAでよろしいですね。

7-2 学びを支える情報の収集、提供、発信

委員 この「新聞見出しデータベース」は毎年の継続事業でしょうか。

事務局 新しいものを追加することと、過去に遡って入力しています。

委員 遡りがあるのならばAでしょうか。それも取組結果に入れたほうが良いでしょう。

事務局 23年度は、遡り分は公開していません。新しいもののみ公開しています。

委員 ではBでしょうか。データ化する新聞を増やすことはありませんか。

事務局 新聞自体が残っていないので、今後増やすということはありません。日経新聞が入っていませんが著作権の許諾が得られないため、追加することはできません。

委員 次のデータベースは種類も増えています。Aでよろしいでしょうか。パスファインダーの発行についてはどうでしょうか。

委員 これは単年度計画なので、どの程度まで実行できたのか、検討結果を出していただきたいのですが、結果はありますか。

事務局 カウンター用の内部資料として、武蔵野市の古い地図のパスファインダー

を作成しました。

委員 成果があるということでAでしょう。

7-3 課題解決の支援

委員 実施したということで、評価はAでよろしいでしょうか。

8-1 一般利用者向けサービスの充実

委員 課題解決テーマ展示とレファレンス件数は先程もありましたのでAでよろしいですね。レファレンス研修もAですね。開館時間は先程Bでしたので同じBということになります。

8-2 児童サービスの充実

委員 「ブックスタート事業」については実績も増えていますのでAでよろしいですね。次の「ハンディキャップを持つ子どもへのサービス」についてのヒアリングは行いましたか。

事務局 23年度中には検討までですが、24年度にヒアリングを実施しています。

委員 検討した内容についてまとめは行っていますか。

事務局 まとめは行っていませんが、24年度より検討の成果としてヒアリングを行い、事業を実施しています。

委員 では23年度としてはBですね。

8-3 ヤングアダルト向けサービスの充実

委員 こちらはどちらもAですね。

8-4 シニア利用者に対するサービス

委員 こちらは実施したということで、Aでよろしいですか。

委員 「図書館資料を活用」とありますが、これが取組結果にありません。

事務局 老壮シニアのプログラムの中で、図書館の資料を活用しています。

委員 大活字本については改善改革がないのであればBでしょうか。

委員 シニアの方へのリクエストなどは行っていますか。リクエストに応じて種類を増やしたのであればAになると思います。

事務局 大活字本は出版件数自体が少ないので、出版されているものは積極的に購入しています。また、配架を変えたり、見やすい案内のサインを作ったり、などはしていますが、選書については行っていません。

委員 特に大活字本でなくても行間の開いたものなど、見やすい本はあると思うので、リクエストに応じていくのはいかがでしょうか。

事務局 文庫本でも行間の開いた読みやすいものも出ているので、利用者アンケートに入れられたらよいと思います。

委員 サインやPRなど、高齢者が足を運んでくれるような取り組み今後があるとよいのではないのでしょうか。

委員 この評価はBでよろしいですか。

8-5 来館、利用困難者に対する利便性の向上

委員 電子データ化は新しいことなのでAでよろしいですか。

事務局 「音訳図書の電子データ化」と言うと、音訳図書のデジタイゼーションのように見えてしまっていますが、これは音訳図書の「目録」のデータ化を指します。

音訳図書を図書館システムの中に入れ、外部からでも検索などができるようにしていきます。こちらは「目録のデータ化」に目標を修正します。

委員 次の目標は「検討を進めました」とありますが、検討結果はいかがですか。

事務局 視覚障害者以外の方へもサービスを広げる必要がある、という問題意識はありますが、検討結果としてはありません。

委員 何もやっていないということではありませんよね。

事務局 障害者サービスについては多摩地域での横のつながりが強く、研究会や研修が数多く行われており、担当が積極的に参加しています。近年、デイジーの話の中で、学習障害の方を対象とする事例が注目されており、情報収集に努めていますが、市の事業としては行っていません。

委員 では評価はBですね。

(2) 今後のスケジュールについて

次回以降の会議等日程の確認を行った。

(3) その他（会議日程等）

今回は平成 25 年 1 月 28 日午後 5 時 30 分より吉祥寺図書館にて開催を決定した。

→ その後、再調整の結果、平成 25 年 1 月 24 日(木)午後 5 時 30 分より中央図書館での開催に変更となった。

4 閉会